

第2学年1組 生活科学習指導案

日 時 令和3年10月22日（金）第5校時

指導者 飯能市立加治東小学校 教諭 又村 永吉

児童数 21名

1 単元名 「うごく うごく わたしの おもちゃ」（16時間） 学習指導要領の内容（6）

2 単元について

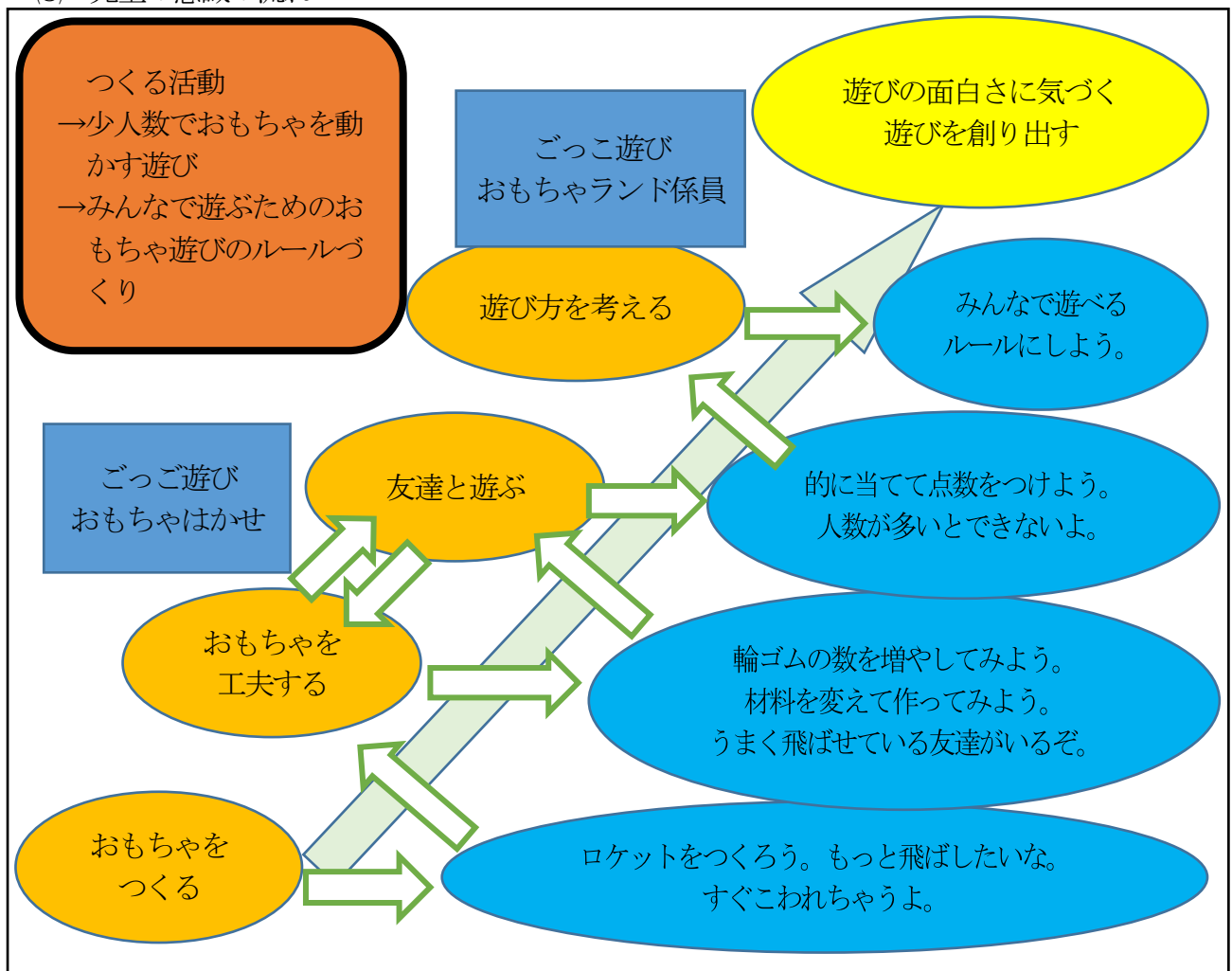
(1) 児童の実態

コロナ禍の影響か、国語科や算数科などで、考えを共有したり、相談し合って活動する場面で停滞してしまったり、話し合い、つくり上げる活動が苦手を感じている子供が多くいると感じている。そこで、本単元を通して、身近なものを使ったおもちゃづくりを通して、もののしくみを考えたり、遊び方を考えたりしながら、友達と話し合い、関わり合いながら、コミュニケーション能力の向上を図っていききたい。

(2) 単元設定の趣旨と構成上の配慮

本単元は学習指導要領の内容（6）「自然や物を使った遊び」を受けて設定したものである。身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりするなどの工夫をし、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。

(3) 児童の意識の流れ



3 単元の目標

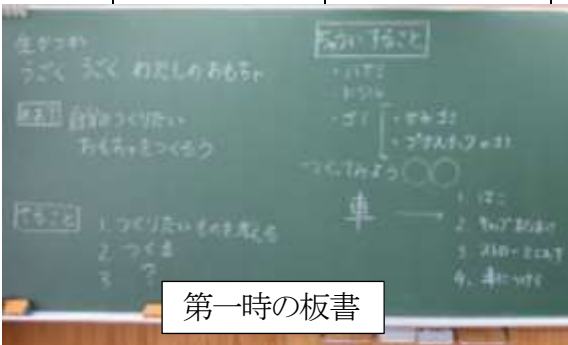
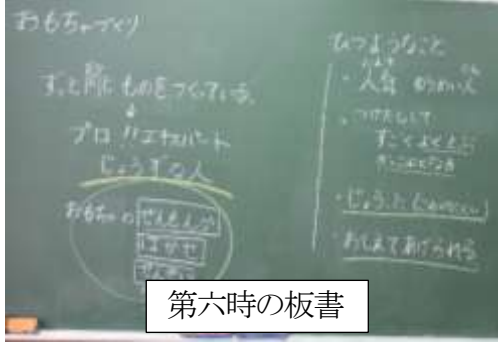
身近にある物で動くおもちゃをつくって遊ぶ活動を通して、試行錯誤を繰り返しながらおもちゃをつくったり遊び方を工夫したりすることができ、その面白さや不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。

4 単元の指導計画・評価計画 9月～11月 16時間

(1) 単元の評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準		身近にある物でおもちゃをつくって遊ぶ活動を通して、その面白さや不思議さに気付いている。	身近にある物で動くおもちゃをつくって遊ぶ活動を通して、試行錯誤を繰り返しながらおもちゃをつくったり遊び方を工夫したりしている。	身近にある物で動くおもちゃをつくって遊ぶ活動を通して、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしている。
学習活動（小単元）における評価規準	1	①身近にあるいろいろな材料の特性や、おもちゃの動く仕組みなどに気付いている。	①自分がつくるおもちゃを決め、動く仕組みを考えながら必要な道具や材料を用意し、友達と比べたり、試したりしながら、工夫して作っている。	①動くおもちゃについて関心をもち、道具や身近な材料などを準備して、自分なりに思いや願いをもち、粘り強く遊びを創り出そうとしている。
	2	②おもちゃを改良したり、遊びの約束やルールを工夫したりすると、友達と楽しく遊べることに楽しさに気付いている。 ③みんなと楽しく遊ぶ際、道具や用具の片付け、掃除、整理整頓をしている。	②みんなと楽しむためにおもちゃの遊び方、約束を考えたり工夫したりしている。	②おもちゃランドで遊ぶことについて、友達と関わったり、相手の意見を尊重したりして、おもちゃ遊びを楽しくしようとしている。 ③みんなと一緒に遊ぶと楽しいことや自分のつくったおもちゃで楽しむことができることを実感しながらみんなと楽しく遊ぼうとしている。

(2) 単元の指導計画

小単元名 (時数)	主な学習活動 小単元の目標	小単元の評価 基準との関連	評価基準から想定した具体的な子供の姿 (評価方法) ← これまでの児童の様子
1 うごくおもちゃをつくらう (9)	動くおもちゃをつかって遊ぶ活動を通して、自分でおもちゃを考えることができ、材料の特性や動く仕組みに気づき、粘り強く遊びを創り出そうとすることができるようにする。 動くおもちゃの例示を参考におもちゃをつくる (3)	何をどのようにつくったらよいかわからない児童もいるので、おもちゃづくりの基盤となる3つのおもちゃづくりに全員で取り組むことで、同じスタートラインで始められた。	第一時の板書  第六時の板書  身近な材料を使って、自分のおもちゃをつくり、つくったおもちゃで遊んだり、友達といっしょに遊んだりする。困っていることや悩んでいることを友達と共有し、試行錯誤しながら、自分のおもちゃがよりよくなるようにする。(6) おもちゃはかせ 知技① 思判表① 主態① 跳ぶ・跳ねる・転がるそれぞれの仕組みのおもちゃをつくりながら、おもちゃの仕組みを考えている。(発言、行動観察) 前時までは違うおもちゃの作りかたをタブレットで配信した。自分で考えてきたものをつくる子、タブレットを参考につくる子、とりあえず近くの友達と同じものをつくってみる子と、さまざまな様子でおもちゃづくりが始まった。  始めはなんでもつくってみるものの、造りが難しく、上手くいかないものは避けていく傾向があった。やがて、友達が成功していた様子を見て再挑戦する様子が見られるようになった。活動が進むにつれて、おもちゃづくりを個々でつくっていた様子から、複数人で同じものをつくって遊んだりする姿が見られるようになってきた。 自分がつくるおもちゃを決め、動く仕組みを考えながら、必要な材料を用意し、おもちゃをつくっている。(行動観察、作品) 何度も粘り強く試したり、比べたりしながら、よく動くように工夫している。(行動観察、作品)

小単元名 (時数)	主な学習活動 小単元の目標	小単元の評価 基準との関連	評価基準から想定した具体的な子供の姿 (評価方法) ← 指導の要点
2 みんなであそぼう「おもちゃランド」(7)	動くおもちゃで遊ぶことを通して、遊び方やルールを工夫しながらみんなと遊び、遊びを楽しくしようとする事ができる。		
	おもちゃランドに向けて話し合う(1)	←	対象に合わせてルールを考えたり、みんなで遊びやすいおもちゃを選定したり、みんなで遊ぶための約束などを話し合わせる。
	おもちゃランドの準備をする(4) おもちゃランド係員	主態②	おもちゃランドで遊ぶことについて、友達と関わったり相手の意見を尊重したりして、みんなが楽しめるおもちゃにしようとしている。(発言、つぶやき)
		←	おもちゃごとにグループをつくり、準備を行う。計画と実際は異なるので、その度に話し合いを行う。プレオープンを行い、楽しく、落ち着いてできるか検証しながら手直しを行っていく。
		知技② 思判表②	おもちゃを改良したり、遊びの約束やルールを工夫したりすると、友達と楽しく遊べることの楽しさに気付いている。(発言、行動観察) みんなと楽しむためにおもちゃや遊び方、約束を考えたり工夫したりしている。(発言、行動観察)
	おもちゃランドを開く(1)	←	分担した役割で、友達と楽しく遊ぶとともに、おもちゃが壊れるなどのトラブルに、自分たちで協力して対応できるように声をかけていく。
	報告会をする(1)	主態③ 知技③	みんなと一緒に遊ぶと楽しいことや自分のつくったおもちゃで楽しむことができることを実感しながらみんなと楽しく遊ぼうとしている。 みんなと楽しく遊ぶ際、道具や用具の片付け、掃除、整理整頓をしている。(行動観察)
		主態②③	おもちゃランドで遊ぶことについて、友達と関わったり相手の意見を尊重したりして、みんなが楽しめるおもちゃにしようとしている。(発言、カード) みんなと一緒に遊ぶと楽しいことや自分のつくったおもちゃで楽しむことができることを実感しながらみんなと楽しく遊ぼうとしていたことを振り返っている。(発言、感想カード)

5 本時の学習指導（10／16時）

(1) 目標 みんなで遊ぶための計画を、友達の意見を聞きながら考える。

(2) 展開

児童の活動・意識	評価（●）と支援（○）	時間
1 これまでの活動を振り返り、これからの活動について考える。	○個人の遊びに執着している子供に対して、友達と遊ぶ活動に変わったことを声掛けするなどして気付かせる。	(分) 3
2 本時のめあて おもちゃランドで、みんなであそぶ。		2
3 おもちゃランドをどのようなものにするか話し合う。 ・みんなで遊べるもの ・安全性 ・ルール	○これまでの遊びを生かし、どのような遊びを行うかを話し合いながら、遊びを選定する視点を考えさせる。 ○話し合いの時間を十分にとり、意見が言葉で出にくい子供には、声を掛けていく。 ○話し合いが停滞している場合は、小グループでの話し合いにして、意見を出しやすい雰囲気にする。 主態 おもちゃランドで遊ぶことについて、友達と関わったり、相手の意見を尊重したりして、おもちゃを楽しくしようとしている。(発言、つぶやき)	25
4 おもちゃランド開催までの計画について話し合う。	○何をどのように進めていくか話し合わせ、自分たちなりの見通しを持たせる。	10
5 振り返り		5

6 板書計画

おもちゃランドで、みんなであそぶ。	
みんなであそびたいおもちゃ ・ ・ ・	けいかくをたてよう ・ ・ ・
おもちゃランドにあうおもちゃはどういうものにするかかんがえよう。 ・ ・ ・	ふりかえり